

趣向をこらして 県北ブロック 盛岡組合の活動報告



がんばったお子さんに認定証を授与

盛岡建設
労働組合の
第41回住宅
デーを6月
17日(日)
巢箱・踏み台・本棚などの

木工教室・コップパトイ・クイズコーナーとして6本組木、木の種類当て、刃物研ぎなどの趣向をこらして行いました。木工教室で、本棚に取り組んだ女の子は、最初不安げな表情を見せながら両手で釘を打っていました。大工さんが丁寧に指導し完成近くには周りの大工の声援も受けて笑顔を見せながら完成させました。木工教室を体験した子には認定書を渡していました。

牧野林店では、木工教室として巣箱・竹とんぼ・プランター・踏み台などに取組んでいました。リスを入れるため巣箱の穴を大きくしてほしいと頼まれて、職人魂に火がついて取り組んでいました。また、本職とは全く関係ない組合員が笑顔を見せながら包丁を研いでいました。不思議に思っていたと、「昔、料理人していたことがある」というのです。家でも、切れ味が悪くなるとやっていると話していました。

まつぞの店では、本棚・花台・プランター・コップパトイなどの木工教室、その他に刃物研ぎ・木酢液販売などに取組んでおりました。木工体験者には、鍋敷きをサービスとして進呈していました。またこの会場では、住宅相談があり組合員2人と事務局1人が現地に向かい対応をしておりました。

盛岡組合会館(青年部)では、本棚・スノコ・カンナかけ・コップパトイなどの木工体験とミニ上棟式(お菓子まき)、ジュースの販売・焼き鳥・くじ引きコーナーなど取り組んで行いました。この会場で驚いたのは焼き鳥を焼いていたとき消防車が突然やってきて「火の取り扱いには十分注意して下さい」と指導を受けておりました。

住宅デーも終わり、各会場の後片付けに組合会館に戻ると青年部長から「今回も焼き鳥完売しました」と誇らしげに報告を受けました。



作業はお手の物

金ヶ崎町職工組合では住宅デーの取り組みとして、6月に独居老人等の住宅修繕ボランティアを行って行きます。これは金ヶ崎町社会福祉協議会の民生委員を通して依頼されるものです。

20分30分くらいで終わる作業、材料代は頂く事(端材で間に合う場合は頂かない場合もあります)を了解の上で行われます。今年度は2件の依頼があり前日に下見を行い、雨樋補修とスロープ設置でした。

6月24日、8時30分に福祉センターに菊地成壽組合長他6名が集合。作業内容の説明、軽い体操をしてからそれぞれの現場に向かいました。

雨樋補修は3名で行い、脚立を運び準備をする人、雨樋を交換する人、片づけ

このボランティア活動は10年以上行われていて、数年前には秋田県横手市から取材を受けました。町の「福祉だより」という広報誌に時々掲載されていて、施主様との話題にもなっています。

【金ヶ崎 建労いわて 通信員 阿部記】

第41回住宅デー 県内各地で

大変助かります

沿岸ブロック 釜石組合活動報告

釜石建設組合では6月17日(日)、組合事務所に組

今回もお客様へのコマーシャルは市の「広報誌」と

テラス波板交換では、14枚のトタンを外しての作業

「震災復興で忙しい中、ご協力頂き感謝いたします」のあいさつの後「いつてきます。お願いします」でそれぞれの現場に向かいました。今年も釜石建設組合の住宅デーは「待ち」ではなく「攻め」の行動で行いました。

取材を受けながらも作業

「震災復興で忙しい中、ご協力頂き感謝いたします」のあいさつの後「いつてきます。お願いします」でそれぞれの現場に向かいました。今年も釜石建設組合の住宅デーは「待ち」ではなく「攻め」の行動で行いました。

階段手すり取付け現場には、復興釜石新聞の記者が



笑顔で作業をします

笑顔で作業をします。今年はやり方を少し変更し、主婦の会でフリーマーケットを開催。刃物研ぎの帰りに寄って行く方が多く、予想外の賑わいを見せました。

行事を継続していく 中央ブロック 北上組合の活動報告

テントで受付をしていると聞き覚えのある声が出て、見てみると昨年来られた女性の方がいらつしゃいました。とてもありがたいがたがっていたので「これからも続けて開催していかないといけない」と感じました。刃物研ぎの組合員の作業着や作業

靴が水で汚れていましたが、みなさん笑顔で作業をしていました。

来場者45名分、140丁の研ぎ終わった包丁は全て引き取られ、フリーマーケットに並べてあったバッグや衣服もほとんどなくなりました。青年部、主婦の会、事務局これからも組合がまとまって行事を継続して行けたらと感じました。今回の住宅デーで得た収益は、北上市のがん基金募金に寄付しました。

【北上 建労いわて 通信員 菊池記】

見事な連携作業

県南ブロック 金ヶ崎組合の活動報告

20分30分くらいで終わる作業、材料代は頂く事(端材で間に合う場合は頂かない場合もあります)を了解の上で行われます。今年度は2件の依頼があり前日に下見を行い、雨樋補修とスロープ設置でした。

6月24日、8時30分に福祉センターに菊地成壽組合長他6名が集合。作業内容の説明、軽い体操をしてからそれぞれの現場に向かいました。

雨樋補修は3名で行い、脚立を運び準備をする人、雨樋を交換する人、片づけ



作業はお手の物

このボランティア活動は10年以上行われていて、数年前には秋田県横手市から取材を受けました。町の「福祉だより」という広報誌に時々掲載されていて、施主様との話題にもなっています。

【金ヶ崎 建労いわて 通信員 阿部記】